新潟大学　人を対象とする研究等倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	中枢神経系炎症性脱髄疾患における臨床・免疫病理学的解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
１９７０年１月１日以降、中枢神経系炎症性脱髄疾患のため新潟大学医歯学総合病院神経内科で受診・入院歴のある患者さん。	
③概要	
中枢神経系炎症性脱髄疾患とは、多発性硬化症と視神経脊髄炎を代表とした疾患です。近年、多発性硬化症と視神経脊髄炎の病態解明が進み、血液のマーカー・アクアポリン４抗体や MRI 画像検査で、二つの疾患を鑑別診断できる可能性が高くなりました。また早期に適切な治療を行うことにより、再発を予防できる可能性が高くなりました。しかし、世界中で数多くの研究が行われていますが、多発性硬化症と視神経脊髄炎を引き起こす根本的な原因は解明されておらず、また根治療法は開発されていません。 近年、MRI 検査の普及と免疫学的検査の発展により、多発性硬化症と視神経脊髄炎の報告数は増加してきています。今後、根本的な原因を解明すること、さらに多発性硬化症と視神経脊髄炎のタイプによる障害や合併症を明らかにすること、病態に応じた管理と治療法を確立すること、患者さんの生活の質（QOL）をあげることが求められています。中枢神経系炎症性脱髄疾患を患っている患者さんの臨床調査をすることで、中枢神経系炎症性脱髄疾患の原因・病態を明らかとし、適切な治療及び全身管理が可能となることを目指しています。	
④申請番号	2015-2060
⑤研究の目的・意義	中枢神経系炎症性脱髄疾患の原因・病態を明らかとし、適切な治療及び全身管理が可能となるよう目指しています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から２０２８年 12 月まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	カルテに保存されている病歴、血液検査結果、髄液検査結果、生理機能検査結果、CT・MRI 検査、病理検査結果を利用します。使用するデータは個人が特定されないよう符号をつけ、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。ご自身の記録がこの研究に用いられることを希望されない場合は、文末の問い合わせ先にご連絡ください。利用を停止します。それにより不利益が生じることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、死亡情報、治療内容）、血液検査結果、髄液検査結果、CT・MRI 検査結果、生理機能検査結果、病理検査結果、血清・脳脊髄液・病理診断が終了した病理組織（残余検体）。
⑨利用の範囲	新潟大学脳研究所神経内科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所・医歯学総合病院神経内科　河内泉

⑪お問い合わせ先	新潟大学脳研究所・医歯学総合病院神経内科　　河内泉 Tel: 025-227-0666 E-mail: ikawachi@bri.niigata-u.ac.jp